

新規事業

3Dプリンターによる部品や製品の直接製造サービスを開始

(2015.4.14)

2014年9月に、リコーは3Dプリンターを中心としたAM(アディティブ・マニュファクチャリング)事業への参入を発表しました。今回、AM事業の拡大に向けて、3Dプリンターによる部品や製品の直接製造サービスを開始しました。

このサービスは製造業のお客様が工場で使用する治具や部品を、リコーが3Dプリンターで製造するものです。このサービスの活用で、お客様は、よりスピーディーに製造工程を構築し、製品を市場に出すまでの時間を短縮することができます。

サービス開始にあたり、様々な材料の出力に対応する3Dプリンターを10台程度備えた、国内でも最大規模の拠点をリコーの厚木事業所内に構築すると共に、リコー自身がメーカーとして長年培ってきたノウハウを活かし、コンサルティングから設計・造形までを一貫して提供します。

[詳細はこちら](#)



新サービスの提供拠点
「リコー ラピッド ファブ厚木」の設備

商用印刷事業

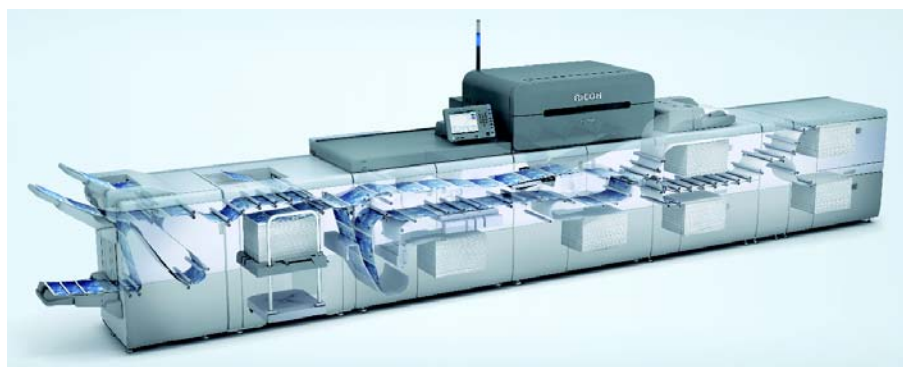
カラープロダクションプリンター「RICOH Pro C9110」を新発売

(2015.4.22)

リコーのカラーPOD(プリントオンデマンド)向け製品の最上位機として、新製品「RICOH Pro C9110」を発売します。

新製品は、従来機より1.4倍となる毎分130枚の高速化を実現するとともに、さらに印刷品質を高めました。加えて、薄紙から厚紙、封筒や凹凸用紙など、幅広い用紙への印刷が可能なので、カタログやパンフレットの印刷からパッケージ印刷まで、さまざまな商用印刷のシーンで活躍します。

[詳細はこちら](#)



RICOH Pro C9110
(オプションを装着したもの)

コンシューマ事業

Kシリーズ最上位モデルのデジタル一眼レフカメラ
「PENTAX K-3 II」を新発売

(2015.4.23)

デジタル一眼レフカメラ「K」シリーズの最上位機種として「PENTAX K-3 II」を発売します。

本製品は、新たな画像処理技術による超高精細な画像と、プロ向け中判カメラ用の画像処理エンジンによる高速処理を両立しました。

さらに、耐寒・防塵・防滴構造を高め、氷点下10度の寒冷地でも撮影できるなど、厳しい撮影環境を苦しめないタフネスさも兼ね備えています。

[詳細はこちら](#)



基盤成長事業

教育用アプリと連携する大画面65インチの電子黒板
「リコー インタラクティブ ホワイトボード D6500」を新発売

(2015.4.30)

教育現場におけるICT*活用を支援する「リコー インタラクティブ ホワイトボード 6500」を発売します。

本製品は教育現場で必要とされる機能に特化しました。教室内のどの位置にいる生徒からも見やすいように、ディスプレイは65インチと大画面で、映り込み防止処理がされています。複数の生徒が指で同時に画面に書き込むこともできるので、楽しみながら理解を深める授業に活躍します。

[詳細はこちら](#)



リコー インタラクティブ ホワイトボード D6500(オプションの専用スタンドを装着したもの)

*ICT : Information and Communication Technology (情報通信技術)

株式会社リコー コーポレートコミュニケーションセンター IR室

※内容につきましては、リリース発表時のものとなります。最新情報と異なる場合がありますので予めご了承ください。